

2022年10月27日

各位



2025年大阪・関西万博 大阪ヘルスケアパビリオン「展示・出展ゾーン」事業企画の リボーンチャレンジ認定について

株式会社池田泉州銀行（頭取 CEO 鶴川 淳）は、2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会（会長 吉村 洋文 大阪府知事）が主催する大阪ヘルスケアパビリオン「展示・出展ゾーン」への事業企画案募集に提案した3テーマが、リボーンチャレンジとしての認定を受けました。

大阪ヘルスケアパビリオンの「展示・出展ゾーン」は、中小企業・スタートアップの技術力、魅力を発信する場として、公益財団法人大阪産業局と大阪商工会議所が共同で設置した「中小・スタートアップ出展企画推進委員会」が、大阪府、大阪市とも協力して運営を担っています。

当行は、「展示・出展ゾーン」を活用し、認定を受けた3つのテーマの具体化を通じて、地元企業の大阪・関西万博への参加機会を創出いたします。出展企業には、当行が持つネットワークを活用しながら、大阪ヘルスケアパビリオンで技術力、魅力を効果的に発信できるようにサポートいたします。さらに、万博の会期中だけでなく、準備期間や開催後も視野に入れた共創を企画・推進していきます。

池田泉州銀行グループは、地域の皆様とともに、地域経済に新しい価値を生み出すチャレンジを応援し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

■大阪ヘルスケアパビリオン イメージ図



（出所：2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会関連資料）

■展示・出展ゾーン イメージ図



（出所：2025年日本国際博覧会大阪パビリオン出展基本計画）

■リボーンチャレンジ認定事業企画

企画名	みんなで描こう、誰もが暮らしやすい社会 ～未来の生き方・働き方～
テーマ	ヘルスケア、SDGs、ライフスタイル
概要	「ウェルビーイング（Well-being）」の実現に向けて活動する企業が思い描く少し先の未来を楽しく体験してもらえ空間を創出します。ジェンダー問題や従業員の健康維持など、生き方・働き方に関する社会課題解決のために活躍する企業の技術やサービスを用い、「誰もが生きやすい近未来の社会や職場」を表現し、未来のライフスタイルを体感してもらうことで、来場者のより充実した人生に繋がるきっかけとなることをめざします。
SDGs への貢献	    

企画名	大阪発！ワクワクする未来の暮らし ～世界一おもしろい都市をめざして～
テーマ	REBORN、ライフスタイル、コミュニケーション
概要	明るく楽しい未来を創造する企業家たちによる大阪の未来予想図を表現し、大阪から「ワクワク」と「おもしろい」を世界へ発信します。多様化する生活者のニーズに寄り添った高品質な製品やサービスの開発を行っている企業の技術を用いて、未来の大阪での暮らしを、「交流」や「対話」を軸に表現し、来場者が思わずワクワクし笑顔になるコンテンツを展開します。
SDGs への貢献	   

企画名	共に創ろう、ヒトとモノとデジタルの未来 ～デジタル技術で変わる、大阪のモノづくり～
テーマ	REBORN、デジタル、環境
概要	Society5.0 における未来の「モノづくり現場」を体感してもらえ空間を創出します。デジタル技術を活用して、変化をし続ける産業界のなかでも、製造業にフォーカスを当て、デジタルトランスフォーメーション（DX）を進める企業と、その技術を提供するスタートアップの取組みを「未来の製造現場」として表現し、来場者が未来の製造業のあり方を体感できるコンテンツの展開をめざします。
SDGs への貢献	   

※ 展示・出展に関する詳細は決まり次第、ホームページ等でお知らせする予定です。

<p>当行はプレスリリースに関連するSDGs 17のゴールのアイコンを掲載しております。</p>	 <p>池田泉州ホールディングスグループは持続可能な開発目標(SDGs)を実践しています。</p>
--	--

以上